

第 210 回 ARIB 電波利用セミナー

無線局の検査・点検に用いる測定器の較正 ～Beyond 5G/6Gを実現するために必要な計量標準・較正技術～

ご 案 内

一般社団法人電波産業会

我々の身の周りには、通信・放送をはじめとする様々な電波が存在しており、電波を使わない日はないと言っても過言ではありません。電波を発生させるためには、総務大臣による免許が必要であり、無線機から発生する電波の電力や電波の質について検査を受ける必要があります。また、定期的な点検も求められます。これらの検査・点検に使用する測定器類は、較正されていなければならず、原則として、情報通信研究機構（NICT）が維持・管理する標準器にトレーサブルでなければなりません。

NICT 電磁環境研究室では、電波利用機器の電磁的両立性（EMC）に関する研究開発と合わせて、較正に必要な標準器の維持と基準値の供給を行う較正サービスを担い、安心・安全で調和の取れた電波利用に貢献しています。

2030 年代のあらゆる産業・社会活動の基盤となる新しい情報通信システムである Beyond 5G/6G では、まだ周波数割当が行われていない 275 GHz 以上の利用に関する研究開発が進められており、それに合わせて、物理量（周波数、高周波電力など）の計量標準の整備及び較正技術の確立が求められています。さらに、研究開発の過程だけでなく、実用化後の免許制度を維持する運用面においても、標準器の維持とともに較正サービスを、安定して供給していくことが無線免許制度には不可欠です。

そこで、今回の ARIB 電波利用セミナーでは、情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波標準研究センター 電磁環境研究室の藤井勝巳上席研究員をお迎えして、Beyond5G/6G の実現に向けた無線免許制度とそれに必要な測定器の較正技術、計量標準、また、Beyond 5G 伝送基盤技術開発環境の整備の一環として NICT 本部に竣工した電波暗室についてご講演いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2025 年 1 月 30 日 (木) 16 時から 17 時まで
- 2 場所・形態 : オンラインセミナー (Zoom ウェビナー使用)
- 3 題 名 : 無線局の検査・点検に用いる測定器の較正
～Beyond5G/6G を実現するために必要な計量標準・較正技術～
- 4 講 師 : 国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波標準研究センター
電磁環境研究室 上席研究員
藤井 勝巳 様
- 5 参加者 : 180 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
ARIB 正会員、賛助会員対象
- 6 申込先 : 当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参加費 : 無料
- 8 問合せ先 : ARIB 電波利用セミナー事務局 熊谷

TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar@arib.or.jp

以上